

川西まほろば会が考える 川西市の将来にとって大切なこと「地域包括ケアシステム」の構築

高齢化が進む川西市。目指すは「いくつになっても住み慣れた場所や地域で健幸に暮らせる」こと。そのためにも、「地域包括ケアシステム」の構築が重要です。「地域包括ケアシステム」とは高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制のことです。

いくつになっても住み慣れた場所や地域で健幸に暮らす。

- 地域にある「ふれあいサロン」などの「通いの場」や、きんたくん健幸体操に参加し、フレイル予防につなげます。
- 地域の人たちで運営する身の回りのお手伝いや生活支援の活動も利用します。

※地域にどんな「通いの場」や「生活支援」があるかは、社会福祉協議会(072-759-5200)にお問い合わせください。



介護が必要になったら…

- 中学校区ごとにある地域包括支援センターや市役所(介護保険課)に相談します。
- 介護保険のサービスを使えるかどうか、要支援や要介護の認定を受けます。
- 認定を受けると、デイサービスや訪問介護などのサービスが受けられます。

※市役所内の介護保険課(072-740-1148)に相談します。



病気になるまえに…

- 日頃からかかりつけ医や歯科医をもち、健康管理をします。
- かかりつけ薬局をもち、薬の重複を防いだり、薬に関する相談ができます。



病気になったら…

- まずはおかかりつけ医に相談します。入院が必要になれば、400床の病床がある市立総合医療センター(急性期病院)も令和4年秋に完成予定です。さらに退院後はリハビリなどができる回復期の病院が市内にはあります。

川西市北部を例にすると

北部地域でいえば(仮称)川西リハビリテーション病院がその役割を担います。同病院には回復期の病床だけではなく、自宅介護の方の一時的な入院を受け入れる病床(地域包括ケア病床)などもあります。

相談できる拠点「地域包括支援センター」

中学校区ごとにある地域包括支援センターでは、主任ケアマネージャーや保健師、社会福祉士などの資格を持った職員が、介護予防や介護・認知症に関すること、高齢者の権利擁護に関することの相談ができます。

令和3年度 川西市予算編成に対する川西まほろば会としての要望事項

市民の方々からのご意見を伺い、各種団体との協議を重ねることを通じて、多様化する住民ニーズに的確に答えるよう努めました。



健康で安心・安全なまちづくりのために

- 1 猪名川を含めた大小河川の治水対策の強化
- 2 消防施設の適正な配置
- 3 大規模団地の再生と空き家・空き地対策
- 4 予防医療・介護予防施策の拡充
- 5 北部の医療・介護体制の充実
- 6 包括的かつ継続的な在宅医療・介護の推進
- 7 ウィズコロナ時代における変わる暮らしへの行政の取り組み

令和3年度 予算要望に対する市長部局からの回答

地域の健康課題の整理や分析を行い、健康状態などの課題を抱える高齢者を把握し、必要な医療や介護サービスに接続するなど、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の体制づくりを進めて参ります。

地域包括ケアシステム(詳細は裏表紙へ)を構築するために、大きく不足している回復期病床の確保や介護需要の高まりに鑑み、市立川西病院跡地に地域包括ケアシステムの拠点となる施設を整備いたします。さらには、地域の診療所との協力連携体制を築き、病診連携を促進する足掛かりとして、地域医療連携推進法人を設立いたします。これにより、市全体として安心で安全な医療体制を整備いたします。

小学校4年生から中学校3年生までの子どもの医療費助成について、所得制限はありますが、**通院医療費の自己負担額(1割)を全額助成(無料)に拡大し、中学校3年生まで自己負担なしといたします。**

処遇改善にかかわる加算を支給し、運営支援を継続するとともに、民間保育所等の事業者に対し、**保育士宿舎借り上げ費用の一部を補助いたします。**

川西まほろば会は政府や兵庫県に対しても次のような要望をしています。

政府に対して

- ①ポストコロナにおける新しい行政運営への財政支援について
- ②公立病院の再編・ネットワーク化に対する財政措置等について
- ③特別な支援を要する児童生徒等の支援について

県に対して

- ①阪神・淡路大震災災害援護資金貸付金の償還について
- ②特別な配慮を要する児童生徒の支援に係る教職員等の配置について
- ③都市計画道路豊川橋山手線の整備について



西山博大

未来を担う子ども達のために

- 1 市内全域の通学路の安全及び危険箇所の整備
- 2 学校のバリアフリー化の推進
- 3 授業時数の確保に対する独自の取り組み
- 4 地域と学校の連携・充実
- 5 児童・生徒の放課後における居場所作りとあり方
- 6 子ども医療費助成制度の拡充(義務教育終了まで)
- 7 保育士増員のための処遇改善
- 8 子どもの発達・成長に応じた、課題の確認と支援の充実
- 9 いじめ・不登校・引きこもりなどのケアサポートの充実

魅力あるまちづくりのために

- 1 地域ニーズに応じた公共交通の実現
- 2 自転車を活かしたまちづくり
- 3 ICTやAIを活かした行政サービスの向上
- 4 里山の自然を活かしたまちづくり(緑の基本計画の見直し)
- 5 歴史・伝統文化を活かしたまちづくり(ICTの活用)
- 6 産業ビジョンの推進
- 7 地域活動の核となる公共施設や拠点の充実



幹事長
にしやま ひろとも
西山 博大
5期目

- 議会運営委員
- 厚生文教常任委員
- 市立川西病院整備調査特別委員長
- 健康づくり推進協議会委員
- 昭和32年 洲本市生まれ 大和在住
- 東谷小学校 東谷中学校 緑台高校
- 大阪学院大学経済学部卒業
- 大和地区福祉委員会監事 大和自治会顧問



まつくま のりひろ
松隈 紀文
1期目

- 建設公企常任委員長
- 中心市街地・新名神周辺整備調査対策特別委員
- 猪名川上流広域ごみ処理施設組合 議員
- 人権施策審議会委員
- 昭和46年 南花屋敷生まれ 清和台在住
- 加茂幼稚園 清和台南小学校 清和台中学校
- 猪名川高校 大阪工業大学工学部卒業
- 土地家屋調査士松隈紀文事務所 所長
- 人権擁護委員(2016.7~2019.9)
- 川西市子ども会連絡協議会副会長
- 川西市消防団平野部



いそべ ゆうこ
磯部 裕子
1期目

- 厚生文教常任委員
- 飛行場対策周辺整備調査特別委員
- 猪名川上流広域ごみ処理施設組合 議員
- 文化スポーツ振興財団評議員
- 昭和40年 大阪市生まれ けやき坂在住
- 関西外国語短期大学卒業 関西学院大学
- 専門職大学院経営戦略研究科 HCLコース履修
- 元 全日本空輸株式会社(ANA)グランドスタッフ
- 元(株)ピー・プランニング人財育成部門代表
- 川西市教育委員(2012.10~2018.7)
- 元 川西市参画と協働のまちづくり推進会議委員



あきた しゅういち
秋田 修一
3期目

- 総務生活常任委員
- 飛行場対策周辺整備調査特別委員
- 広報委員長
- 昭和37年 奈良市生まれ 小花在住
- 川西小学校 川西中学校 川西明峰高校
- 大阪産業大学経営学部卒業
- (株)桂商店 代表取締役 ローソンオーナー4店舗経営
- シャント川西自治会会長
- スポーツクラブ21川西やなぎクラブ代表 等



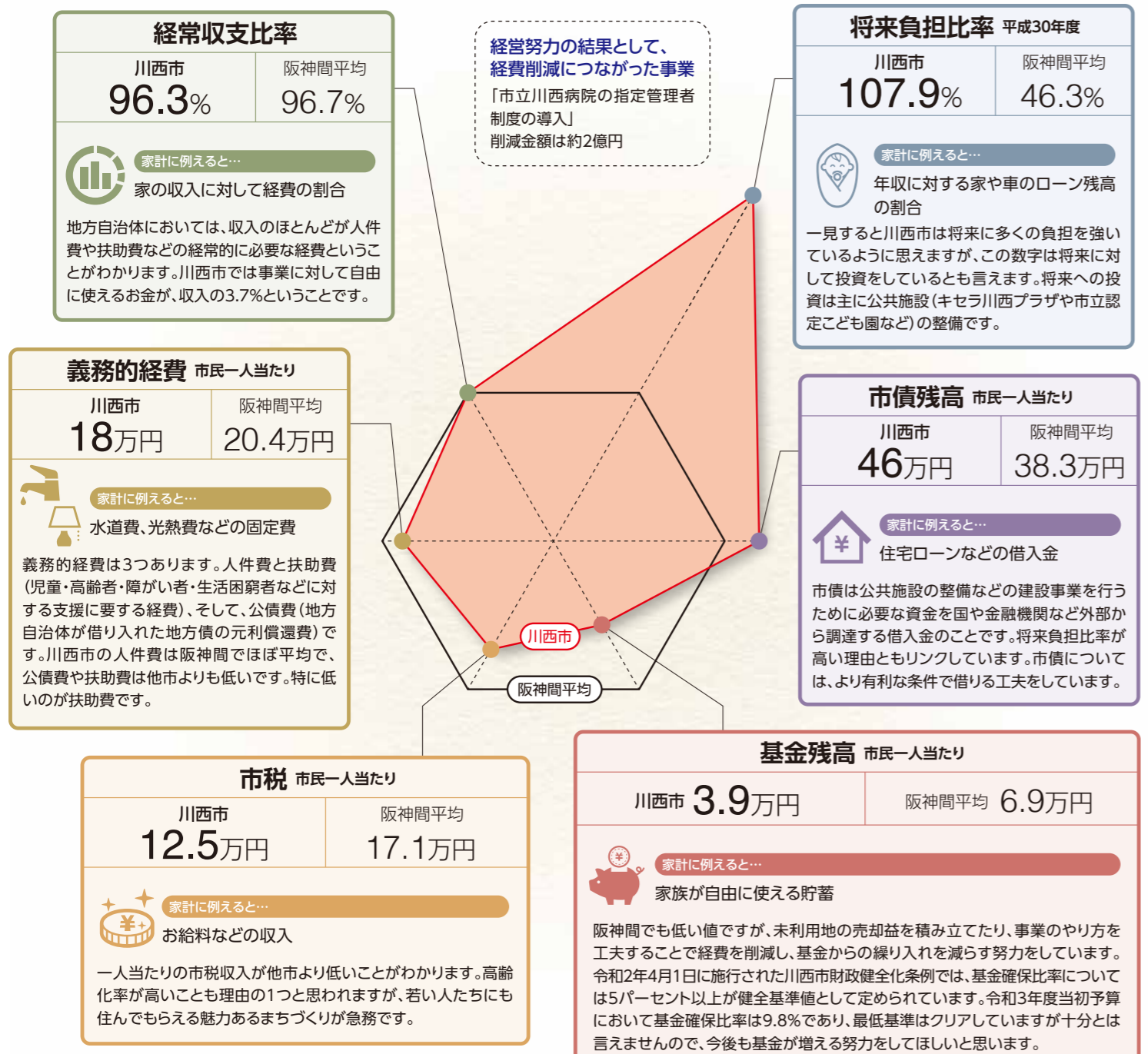
くぼ よしたか
久保 義孝
8期目

- 議会運営委員長
- 建設公企常任委員
- 中心市街地・新名神周辺整備調査 対策特別委員
- 都市計画審議会委員
- 昭和21年 一庫生まれ 丸山台在住
- 東谷小学校 東谷中学校 伊丹高校
- 大阪商業大学経営学部卒業
- 川西市少年軟式野球連盟会長
- 伊丹川西猪名川食品衛生協会 前会長 等



川西市の最新の決算報告(令和元年度決算)からわかること

決算報告書の内容を6つの視点に分けて分析しました。また、近隣他市の伊丹市、尼崎市、宝塚市、芦屋市、西宮市、三田市と川西市を入れた阪神間の平均を割り出し比較することで、川西市の現状を検証します。



川西まほろば会は継続的に取り組んでいます

川西市認知症行方不明者SOSネットワークの充実をさせよう!
認知症行方不明者の捜索情報を協力者へ24時間365日メールで配信。「協力者の登録」はひょうご防犯ネット内の川西市行方不明者SOSネット「かんたん登録」から。協力者数471件(令和2年12月現在)
かんたん登録はこちら
靴ステッカーも配布中! 詳しくは...
川西市中央地域包括支援センター川西市役所1F
介護保険課内 TEL **072-755-7581**

フレイル予防を推進しています!
「フレイル」とは、加齢により心や体のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態を言います。コロナ禍の長期化で高齢者の皆さんの健康二次被害が心配されています。フレイルの状態になっても、適切な対策を行うことで、進行を防ぎ健康な状態に戻ることが出来ます。
フレイルを予防する3つのポイント
運動 栄養(食・口腔) 社会参加

ヘルプマークをもっと知ってもらいたい!
見た目にはわかりにくい障害や病気を抱えている人が、そのことを周囲に知らせることで、配慮や援助をしてもらいやすくする目的で作られたマークです。市役所や保健センター、各公民館、社協などで発行しています。現在、661名の方に交付されましたが、必要とされる方はもっといるはずですよ。
例えばこんな援助
・電車やバスの中で席を譲る
・困っている様子であれば声をかける
・災害時には安全な場所に移動出来るよう避難の手助けをする など

活動の趣旨に賛同し、自分たちのできることに取り組んでいます!
このマークはSDGsのマークです。SDGs(エスディーゼーズ)とは、持続可能な開発目標の略で、国連サミットで決められた17の目標を2030年までに達成することができれば、今もそして未来も世界中の人々が人間らしく暮らしていくための社会が実現する。どんな目標が掲げられているかはこちら→
17の目標はこちら

一般質問 市の一般事務に対して、執行の状況や課題、将来の方針や政策的提言を質問

公共交通基本計画について (令和2年12月)
質問者 秋田 修一
川西市は公営の交通手段を持ち合わせておらず、民間事業者との共存が重要です。人口も減少傾向にあり、都市回帰が進み、公共交通の衰退がまちの魅力を低下させることにも繋がりがねない中、いかに移動手段を確保していくかは大きな課題です。しっかりと課題を検証したうえで次期の公共交通基本計画の策定にあたってもらいたいと要望しました。

川西市史編纂について (令和2年12月)
質問者 松隈 紀文
市民が郷土に誇りが持てるように、また、魅力を再確認する意味でも市史の編纂が必須である。激動の昭和から平成にかけての市史編纂を、市民とともに作り上げていくことについて提案し、地域の方々と連携して前向きに検討していくことになりました。

スマートな自治体となるための取り組みについて (令和2年9月)
質問者 松隈 紀文
マイナンバーカードやICT(情報通信技術)を活用し、①申請書を書かない、書かせない事による住民サービスの向上と職員の業務負担の軽減、②市道の維持管理業務について、新たな取り組みを提案しました。2021年3月から保険証としても利用できるようになるマイナンバーカード。高齢化社会に対応するためにも、マイナンバーカードを活用した「おくやみ窓口」の早期設置を要望しました。利用機会を増やすことで利便性の向上が図れ、普及促進につながるよう今後も努力をしてもらいたいと要望しました。市道に管理については、ICTを活用し補修が必要な箇所を確認できる仕組みもあります。ICTの発展は目覚ましく、引き続き全庁的に新しい技術の調査・研究に邁進してもらいたいと要望しました。

コロナ禍の川西市における高齢者の健康維持とフレイル予防について (令和2年9月)
質問者 磯部 裕子
コロナ禍の高齢者の皆さんの健康維持とフレイル予防(詳しくは誌面左下)については、情報を発信していくことの重要性を確認した上で、対策を具体的に検討するとの答弁がありました。「フレイル予防と健康づくり」のリーフレットが発行されました。
フレイルチェックはこちら

コロナ禍および民法改正に伴う川西市の成人式について (令和2年9月)
質問者 磯部 裕子
コロナの感染状況が予測できない時点ではありますが、令和3年1月の成人式について実施予定を尋ねたところ、「何らかの形で1月11日に実施する」ことの決意が聞け、「川西エキマエOnline-新しいカタチの成人式-」が開催されました。また、民法の改正に伴う成年年齢の変更後の成人式のあり方を尋ねたところ、令和4年以降も川西市では20歳のときに成人をお祝いするとの答弁がありました。

新型コロナウイルス感染症対策に関する市民へのタイムリーでわかりやすい情報発信と川西市の体制について (令和2年12月)
質問者 松隈 紀文
年末年始に向けて感染予防や拡大防止、さらには、医療機関が休みのときの相談窓口や医療体制について、わかりやすい情報発信を提案したところ、12月に広報かわにし「みらいふ臨時号4」が発行されました。また、第1波の際に設置した対策チームや総合相談窓口設置の成果を踏まえ、改めてコロナ対策プロジェクトなどを検討することを提案しました。2月には新型コロナウイルスワクチン接種対策事務局が立ち上がりました。フレイル予防につながる「きんたくん健康体操」についての積極的な情報発信についても提案したところ、厚労省のご当地体操のサイトに動画がアップされました。

キセラにゲンジボタルを! 第2弾
久保義孝
清和源氏発祥の地、川西市らしい魅力あるまちづくりの一環として、キセラ川西のせせらぎ公園内を流れる水路にゲンジボタルが舞う日が来るよう、市民の皆さんと共に取り組んでいます。今回はゲンジボタルの餌にもなるカワニナなど、せせらぎに生息する生物や植物の調査を「身近な自然とまちを考える会」の方と共に行いました。多くの生物や植物が確認できましたが、課題として川底などに汚泥が付着していることがわかりました。今後も定期的に川の清掃をしたいと思っております。尚、川の清掃ボランティアを募集しています。参加いただける方は川西まほろば会までご連絡ください。
調査日:2020年11月11日(水)